

ねん がつ
2016年4月

みん ぞく
民俗 — No. 12

けんぱくものしりシート

やくばら にんぎょう

厄払い人形



おお
わあ、大きな
にんぎょう
わら人形！



ケンくん ハクちゃん

ケンくん、ハクちゃん
こんにちは。



かいせついでん
解説員

やくばら にんぎょう
この厄払い人形は
しろき の にんぎょうおく
“白木野人形送り”
というまつりで使われ
るものですよ。

なんだか
つよ
強そうだね！



あたま
ちょんまげ頭に
かみしも、
こし
腰には2本の刀。

やくばら にんぎょう
厄払い人形は
さむらい
侍をかたど
った姿をして
いますね。



やくばら にんぎょう
厄払い人形

たか
高さ 97cm
はば
幅 79cm

にしわ が ましろき の
西和賀町白木野
きゅうゆ だまち
(旧湯田町)



どうして
たか き うえ
高い木の上
にいるの？



たしかに、
やくびょうがみ
疫病神もここ
から先には入れ
なさそうだね。

このように、地区の
さかい き むす
境の木に結びつけ、
そと わる びょうき
外から悪い病氣
などが入ってくる
はい
のを防ぎます。



こうして、一年間の
いちねんかん
むびょうそくさい びょうき
無病息災（病氣を
することなく、健康で
げんき けんこう
元気に暮らすこと）を
いの
祈るのです。

はくりよくまんてん とお
迫力満点で『通せんぼ』



している
もんね。

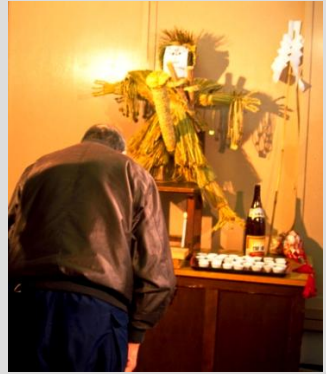


それでは、^{しろ き の にんぎょうおく}“白木野人形送り”^{やくばら}（厄払いまつり）^{いちにち み}の一日を見てみましょう。

① 1月19日の朝、^{あさ}西和賀町白木野地区^{にしわがまちしろきのちく}の人々がワラを持って公民館に集まり、^{うで あし}腕・足・^{あたま}頭などを^{てわ}手分けして^{つく}作りま^すす。



② ^{く た}組み立てて、^{ぜんいん}全員で1体のわら^{たい}人形^{つく}を作ります。^{いちねんかん むびょう}一年間の無病^{そくさい}息災をわら人形^{にんぎょう}へ^{いの み き}祈りお神酒を^いいただきます。



③ ^{がい}ほら貝、^{たい こ}太鼓、^{かたぐるま}肩車を^{にんぎょう}された人形、^{ちくみん}地区民と、^{にんぎょうおく}人形送りの^{ぎょうれつ}行列が^く組まれ^{ちく}地区の^{さかい}境^{めざ}を目指して^{ある}歩きます。



④ ^{とうちゃく}到着したら、^{たかだい}高台の^き木に^{やくばら}厄払い^{にんぎょう}人形^{あんち}を安置します。こうして、^{しゅうらく}集落に^{そと}外から^{やく はい}厄が入ってくるのを^{ふせ}防ぐのです。



^{ぎょうれつ}行列では、^{うし}後ろ^{ふ む}を振り向かずに^{ある}歩くのが^{なら}習わし^{です}です。



このまつりは^{え ど じ だ い}江戸時代に^{でんせんびょう}伝染病^{りゅうこう}が流行したとき^{やく ねんまえ}（約300年前）から^{つづ}続いているといわ^れれているんですよ。

^{なが}長い^{あいだ}間^{みんな}ずっと皆で^{ちいき}地域の^{でんとうぎょうじ}伝統行事を^{つづ}続けるのって^{すごい}すごいね！

ぼくたちも^{ことしいちねんげんき}今年一年元気で^{いら}られるように^{いの}お祈りしよう！



参考 ^{いわて まつ}『岩手の祭り・行事調査報告書』岩手県教育委員会 2000年 / 『岩手の小正月行事調査報告書』
岩手県教育委員会 1984年 / 『岩手民間信仰事典』(財)岩手県文化振興事業団 1991年 ほか

^{らいげつ}来月(5月)の^がけんぱくものしりシートは^{げんせい}現勢・^{せいぶつ}生物-12だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>